

令和7年度第3回宮崎県農政審議会 議事要録

1 開催日時

令和8年2月6日（金）午後2時から午後4時まで

2 開催場所

宮崎県庁 講堂

3 出席者

別添出席者名簿のとおり

4 議事

(1) 開会

事務局が開会を宣した。

(2) 児玉農政水産部長あいさつ

児玉農政水産部長があいさつを行った。

(3) 会長の選任

出席審議員の互選により、佐藤審議員が会長に選任された。

(4) 議事録署名者の選任

佐藤会長より、川上審議員と中邨審議員の両名が議事録署名者に指名された。

(5) 議事

・第八次宮崎県農業・農村振興長期計画の後期計画（案）について

佐藤会長が事務局に説明を求め、事務局から説明があった後、次のような意見交換があった。

【意見交換の主な内容】

会 長	審議員の皆様から、計画案への御意見や、計画実行に当たり、皆様のお立場からの思いや県に期待することなどをいただきたい。
審 議 員	国を挙げて進めている農地の大区画化の推進については、県が主導的に引っ張って行っていただきたい。また、老朽化した農業水利施設の更新整備を加速度的に進めていただきたい。
審 議 員	畜産試験場の機能強化について、川南支場の跡地活用を十分検討いただきたい。
審 議 員	計画案について、従来の新規就農者確保という目標に代わり、県認定就農研修機関数という目標が設けられているが、目標が変更となった理由はなにか。
事 務 局	農業法人等により雇用就農はある程度確保されているが、自営就農者の減少が著しいため、重点プロジェクトでの取組を含め、自営就農者の確保及び育成を進めることとし、雇用就農者については別に目標を掲げているところ。
審 議 員	農業系高校や農業大学校など、職業選択をする段階の人に対して、ピーマンで農業所得 960 万円を目指すなどを示すことで魅力ある農業につながると思うため、PR をお願いしたい。
審 議 員	この後期計画を県民、特に子どもたちに伝える場合、イラストやストーリーを作る、または農業の実態や目標を示した教科書的なもので伝えていくと良いのではないか。
審 議 員	みやざき施設園芸デジタル化推進プロジェクトについて、環境データをもとに収量が増加することは良いが、重油代などのコストも加味したデータになると、経営により良いものになると思うので検討いただきたい。
審 議 員	新規就農者にも、法人化を目指す人、農業法人に就農したい人などタイプがあるため、それぞれについて目標を定めていくと良いと思う。

審 議 員	農産物の価格について、宮崎県産の農産物を、消費者が高くても買ってくれるような仕組みづくりを期待したい。
審 議 員	ブランドの基本的な観点の一つは、脱価格競争。ブランドマークを新たにしたということで、今後はこのブランドを上手く絡めた取組が重要になると思う。
審 議 員	小さい子どもも SNS 等を見ているため、技術やノウハウの継承、子どもが興味を持ったときに見て、職業選択の一つとなるよう、SNS などを活用していただきたい。
審 議 員	県や市町村など、行政が動かなければ農家には届かず、良い方向には進まない。行政の末端まで動けるよう、自治体職員の教育もあわせて進めていただきたい。
審 議 員	農業系高校、農業大学校、大学が連携した農業人材育成について、農業大学校からの編入学や農業高校からの地域枠など、縦の繋がりで人材を県内に残していくことが重要で、この仕組みづくりを一緒に進めていただきたい。

(6) 閉会

児玉農政水産部長があいさつを行った。

事務局が閉会を宣した。